

## 地域医療構想について

## 1 取組の経過

平成 29 年 12 月 26 日	第 1 回調整会議ワーキンググループ ・設置（医師会及び 9 病院事務長クラス） ・地域医療構想推進シートの概要、協議
平成 30 年 3 月 28 日	第 2 回調整会議ワーキンググループ ・公的医療機関等 2025 プランについて ・地域医療構想推進シート（素案）について
平成 30 年 3 月 29 日	平成 29 年度第 3 回西胆振保健医療福祉圏域連携推進会議 ・地域医療構想シート ・今後のスケジュール
平成 30 年 3 月 29 日	ワーキング参画医療機関への文書による再意見聴取
平成 30 年 4 月 18 日	ワーキング参画医療機関以外のベットを有する医療機関への文書による意見照会
平成 30 年 5 月 7 日	平成 30 年度第 1 回地域医療構想調整会議（書面開催） ・地域医療構想推進シート（案）について ・西胆振地域医療構想の今後の対応方針（案）について
平成 30 年 5 月 16 日	地域医療構想推進シートの決定、提出。

## 2 地域医療構想推進シートについて【資料 3-1】

- 地域医療構想の推進を図るため本構想に係る工程表として、北海道において「地域医療構想推進シート」を作成することとなった。
- 西胆振地域の本構想シートについては、上記取組み状況の平成 29 年 12 月 26 日の第 1 回ワーキングから平成 30 年 5 月 7 日平成 30 年度第 1 回地域医療構想調整会議（書面）を経て成案を得たところ。

## 3 今後の地域医療構想調整会議について【資料 3-2】

- 本年 5 月の書面会議で概略をお示し御意見をお伺いし、この度、正式にお示しするもの。
- 現行の地域医療構想調整会議は、連携推進会議に 9 医療機関を加えた組織とさせていただいている。
- 今後の地域医療構想調整会議の議論の中心は、個別医療機関の役割分担や病床再編等の具体的対応方針となってくることから、医師会及び医療機関代表者で構成する会議体として「地域医療構想医療機関部会（仮称）」を設置する。
- 地域医療構想調整会議は、地域医療構想に係る医療機関間の役割分担等、医療機関調整に係る事項について「医療機関部会」に付託し「医療機関部会」はこれを協議し連携推進会議に報告し意見を徴するものとする。
- 「医療機関部会」の構成は医師会及び医療機関代表者（現 9 医療機関）とするが、他の病床を有する医療機関へは予め議事項目等をお示しし意見聴取、また、希望等により会議体への参画も可能とする。

#### 4 西胆振地域医療構想の対応方針について

本年5月の書面会議で概略をお示し御意見をお伺いし、この度、正式にお示しするもの

##### 【基本的考え方】

- 西胆振地域医療構想の実現に向け、推進管理に係る工程表である「地域医療構想推進シート」に基づき進める。
- 平成30年2月7日付け「地域医療構想の進め方」等厚生労働省関係通知及び平成30年5月24日付け「北海道における地域医療構想の進め方」を踏まえるとともに「公的医療機関等2025プラン」など各医療機関の方針等について、地域医療構想調整会議において共有しその役割について議論しながら進める。

##### 【平成30年度からの対応方針】

###### ① 医療機関の役割分担について

- 「公的医療機関等2025プラン」作成の公的医療機関が担う役割が明確化することを踏まえ、これらの対象でない、その他の医療機関については、現状と担っている役割を踏まえた今後の方針を明らかにするよう求め、地域医療構想調整会議において協議する。
- 求める内容は、自施設の現状と課題、地域において今後担うべき役割、今後、提供する医療機能（4機能毎の病床、診療科の見直し等）、その他について、所定の様式を定め、地域医療構想調整会議に提出。
- 地域医療構想調整会議において、将来のバランスのとれた医療提供体制構築のための方向性共有（各医療機関の役割分担の明確化）を図る。
- また、室蘭市では、基幹となる市内の3病院を中心に将来的にも安定した医療提供体制の検討を進めることとしていることから、その検討の推移を把握する。

###### ② 将来不足が見込まれる病床機能の把握について

- 病床機能報告と2025年の必要病床数の単純比較では、高度急性期、回復期に不足が見込まれ、急性期、慢性期が過剰となっている。
- 病床機能報告においては、病棟が担う医療機能をいずれか1つ選択することとされているが、実際の病棟には様々な病期の患者が入院している。
- これらを踏まえ、西胆振地域の将来の医療需要の増加に的確に対応するため、医療機能の過不足の実態について、病床機能報告数値以外の把握の方法（例、病床機能との関連する項目を定め病床単位での報告を求める）等について検討し、不足している機能を明確にし共有を図る。

###### ③ 病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関への対応

- 全て稼働していない病棟を有する医療機関については、稼働していない理由及び今後の運用見通しについて計画を求め推進管理の対象とするとともに介護医療院や介護保健施設等への転換及び廃止を基本とするについて協議する。
- 全て稼働していない病棟を再稼働しようとする医療機関は、再稼働した場合に担う予定の病床機能が、構想区域全体で過剰である場合には地域医療構想調整会議において協議する。

###### ④ 現状の病床数について

- ①及び②の議論の前提となる西胆振地域の病床数は、病床機能報告数値のうち、「稼働病床数」とする。

## 5 当面の取組みについて

### (1) 「地域医療構想説明会」北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課及び北海道室蘭保健所

開催日時 平成30年9月12日(水)18時30分～  
開催場所 広域センタービル3階会議室  
開催内容 「北海道における地域医療構想の進め方」等

### (2) 第1回地域医療構想医療機関部会

開催時期 平成30年10月又は11月  
開催場所 未定  
開催内容 意向調査の実施及び報告並びに方向性の共有  
H29医療機能報告

### (3) 第2回地域医療構想医療機関部会

開催時期 平成31年1月又は2月  
開催場所 未定  
開催内容 不足が見込まれる病床機能の把握  
病床が全て稼動していない病棟について

### (4) 第2回地域医療構想調整会議（連携推進会議）

開催時期 平成31年3月  
開催場所 未定  
開催内容 地域医療構想医療機関部会からの報告

